

新規オプション検査のご案内

2016年4月より、オプション検査として「**便中ピロリ菌抗原検査**」「**フェリチン**」を開始致します。
また「**インボディ（体組成分析測定）**」もスタートしております。ぜひこの機会にご利用ください。

便中ピロリ菌抗原検査

3,240円（税込）

便中のヘリコバクターピロリ菌（以下ピロリ菌）由来の抗原を調べる検査です。
近年、慢性胃炎および胃がんとピロリ菌の関連が明らかになり、ピロリ菌の除菌により胃がんの発生率の低下が期待できると言われています。



ピロリ菌の検査方法はいくつかありますが、当センターでは便を用いて直接的にピロリ菌の有無を評価する方法を採用しています。なお、この検査は精度が高いですが、ピロリ菌が存在していても陰性と判定されることが稀にあります。そのため、胃画像検査とピロリ菌検査との総合診断が重要です。また、ピロリ菌が関与しない胃がんもあることが報告されています。

方法は、専用容器にドック当日または前日に便を一回採取し、ドック当日にご提出いただきます。

【お申し込み】**受診日の1週間前まで**にお申し込みください。

ご予約後、専用の検査容器をお送りします。（検便の容器とは別です。）

【結果報告】後日郵送する結果表でご確認いただきます。

フェリチン

1,940円（税込）

フェリチンは、鉄の貯蔵や血液中の鉄の濃度の調節をしている蛋白ですが、測定することで、体内鉄が欠乏した状態（**潜在性鉄欠乏症**）を予測することができます。検査は採血で行います。貧血がなくても体内鉄が欠乏しているだけで全身倦怠感などの症状がでる場合があります。それを鉄剤で治療すると症状が改善することが知られています。日本人女性の約半数が、鉄欠乏性貧血あるいは潜在性鉄欠乏症と報告されています。



【このような方にお勧めします】

通常の健診では特に異常はなかったが、「いつもなんとなくだるい」「疲れやすい」という**女性**の方。

【対象者】**女性のみ**

【お申し込み】事前にお申し込みください。

【結果報告】後日郵送する結果表でご確認いただきます。

*フェリチンの正常値は、各施設で異なります。貧血の多い日本人女性は、低めに設定されてしまい、鉄欠乏状態が見逃されている可能性があるため、当施設では、日本血液学会の基準値を採用しています。

インボディ（体組成分析測定）

4,320円（税込）

手指・足首に電極を装着し、体脂肪量・筋肉量・水分量を測定します。結果は管理栄養士がご説明します。経年的に体調管理をしたい方、むくみが気になる方などにお勧めします。 ※詳細は「1日人間ドック オプション検査・プログラムのご案内」をご覧ください。

【注意】

- ・ペースメーカー埋め込み後の方、左右の手指・足首に電極を装着できない方は検査できません。
- ・骨折等で金属製部品を体内（首から下）に埋め込んでいる、怪我をしている、四肢が欠損している、手術後1か月以内の方は結果に誤差が生じることがあります。

この他のオプション検査につきましては、「1日人間ドック オプション検査・プログラムのご案内」をご覧ください。

オプション検査追加をご希望の場合は、事前にお電話にてお申し込みください。



聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター
TEL 03-5550-2400 (8:30~16:30 日・祝日除く)
E-mail dock@luke.ac.jp